

第4回 PX フォーラム 変革から成熟へ —With コロナ時代の PX がもたらすもの— 〈抄録〉

【日本の PX と海外 PX 事情】

日本ペイシエント・エクスペリエンス研究会メディア統括マネジャー
藤井 弘子

「患者中心の医療」は世界のスタンダードとなっています。PX は主にイギリスやアメリカで取り組まれてきましたが、現在では欧米に限らず、中東やアジアにおいても PX は医療の“ニューノーマル”です。

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) のパンデミックによって、PX をどう推進し、担保するのかといったことは海外でも議論されています。議論の内容および世界の人々が PX に取り組むことでどのような医療を目指しているのか、現状と展望を紹介します。併せて、2016 年から当研究会が活動してきた日本の PX の“今”についてお話しします。

【シンポジウム① With コロナ時代の PX】

日本ペイシエント・エクスペリエンス研究会 理事/東海大学医学部血液・腫瘍内科 教授
安藤 潔(司会)
瀬尾 龍太郎(神戸市立医療センター中央市民病院 医師)
小坂 鎮太郎(板橋中央総合病院 医師)
松本 卓(広域紋別病院 診療部長)

2019 年よりすでに 2 年を経過した COVID-19 パンデミックは、医療・政治・経済をはじめとして世界中の人々の生活に甚大な影響を与えています。PX に関しても従来の調査票(サーベイ)だけでは十分に現状を評価できない可能性があります。これまでの 2 年間の経験を経て、今後の PX をディスカッションします。フロアからのご意見も伺いたいと考えています。

【パネルディスカッション 患者・住民に寄り添う墨田区モデル】

プレゼンテーション

墨田区保健所長 西塚 至

パネリスト

日本ペイシエント・エクスペリエンス研究会 メディア統括マネジャー
藤井 弘子(司会)
小松 良平(松下記念病院 看護師)
齋藤 貴之(ごはながたべたい歯科クリニック 院長)
能勢 恵嗣(株式会社イトーキワークスタイルデザイン統括部)

墨田区では地域の各医療機関が役割を担い、自宅療養者を含めた COVID-19 患者への全面的なサポートを行う「地域完結型医療」を実現しています。患者、住民に寄り添うという行政、医療関係者の姿勢や思いがあっただけで、PX にも通じるものです。

爆発的な感染拡大となった“第 5 波”で死者、重症者ゼロを達成した墨田区のコロナ対策と患者のサポート、住民の安心・安全の確保策について、陣頭指揮をとってきた西塚至保健所長にお話しいただきます。それを踏まえて PX 研究会のメンバーが、患者中心性の考え方にに基づき、医療者がいかに COVID-19 と向き合っていくかについて議論します。

【シンポジウム② PXE2期生の発表】

日本ペイシエント・エクスペリエンス研究会 理事/東北大学大学院医工学研究科 教授

出江 紳一(司会)

治田 茂(富士通株式会社)

熊崎 博司(海外医療機関 ディレクター)

大原 暖太郎(愛知県がんセンター)

半場 江利子(京都市立病院 看護師)

森 輝美(鳥取大学医学部附属病院 看護師)

COVID-19 による緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置が多くの自治体で行われ、医療体制の逼迫を含めて患者と医療従事者を取り巻く環境は大きく変化し続けています。巷では緊急事態を表現するためでしょうか、野戦病院などという無神経な言葉が使われています。そのような困難な状況にあるからこそ、患者中心性を医療の中心に置いて働けるかどうか科学的専門職である医療従事者の矜持であると思います。

本シンポジウムは、現況の中で患者中心性を具現化する PX の学びと実践に取り組んだ PXE2 期生の成果を共有する場です。

【PX サーベイ実践病院からの報告】

国立病院機構九州医療センター 小児外科医長 西本 祐子

当院では 2015 年から継続して「患者経験価値(PX)サーベイ」を実施し、組織横断的に PDCA サイクルを回して医療サービスの質向上につなげています。

2020 年 1 月、国内初の COVID-19 陽性者が報告され、2 月には福岡県でも初の陽性者が報告されました。その後の経過は万人の知るところですが、1 年 9 か月を経た現在も未だ終息の声は聞かれません。

当院は第二種感染症指定医療機関として、最前線で COVID-19 患者の受け入れを行ってきました。病院スタッフは、医療者としての責務を自覚しながらも、未知なるウイルスへの恐怖、ゴールの見えないトンネルを進む不安など、これまで抱いたことのない思いや経験をしてきました。立場は違えど、患者やその家族も同じではないでしょうか。「With コロナで現場(医療者・患者)はどう変わったか？」を PX の視点から検討します。